

2021年3月期 第3四半期

(2020年4月～2020年12月)

決算説明資料

2021年2月5日（金）

 東洋合成工業株式会社

1. 2021.3月期 第3四半期 決算概要

2. 2021.3月期 通期見通し

2021年3月期 第3四半期 業績ハイライト

- 在宅需要拡大による半導体・電子材料の旺盛な需要を背景に、先端分野の高付加価値製品の増加等により売上高・利益全て、前年同期実績に対し、増収・増益を達成。
- 売上高は、19,823百万円（前年同期比+1,787百万円、+9.9%）。
- 利益面は、営業利益2,139百万円（同+634百万円、+42.1%）、経常利益2,086百万円（同+679百万円、+48.3%）、当期純利益1,412百万円（同+504百万円、+55.5%）。

(百万円)	前期3Q 実績	当期3Q 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	18,036	19,823	+1,787	+9.9%
営業利益	1,505	2,139	+634	+42.1%
経常利益	1,406	2,086	+679	+48.3%
当期純利益	908	1,412	+504	+55.5%
為替レート	¥110/\$	¥104/\$		

2021年3月期 第3四半期 決算のポイント

■ 売上高

- ✓ 19,823百万円（前年同期比+1,787百万円、+9.9%）
- ✓ 感光材セグメント： PAG、Polymerなどの先端領域の製品販売が増加。
- ✓ 化成品セグメント： 電子材料関連は好調持続。
香料材料関連は堅調に推移。
ロジスティック事業は、荷動き量が減少したが、現在は回復傾向。

■ 営業利益

- ✓ 2,139百万円（同+634百万円、+42.1%）
- ✓ 感光材の設備能力増強に伴う労務費・償却費の増加があったものの、販売の増加、先端領域の製品販売の増加などにより増益。

■ 経常利益

- ✓ 2,086百万円（同+679百万円、+48.3%）
- ✓ 円高に推移したことにより、為替評価損の計上があったものの、受取保険金計上もあり、営業外収支は改善。

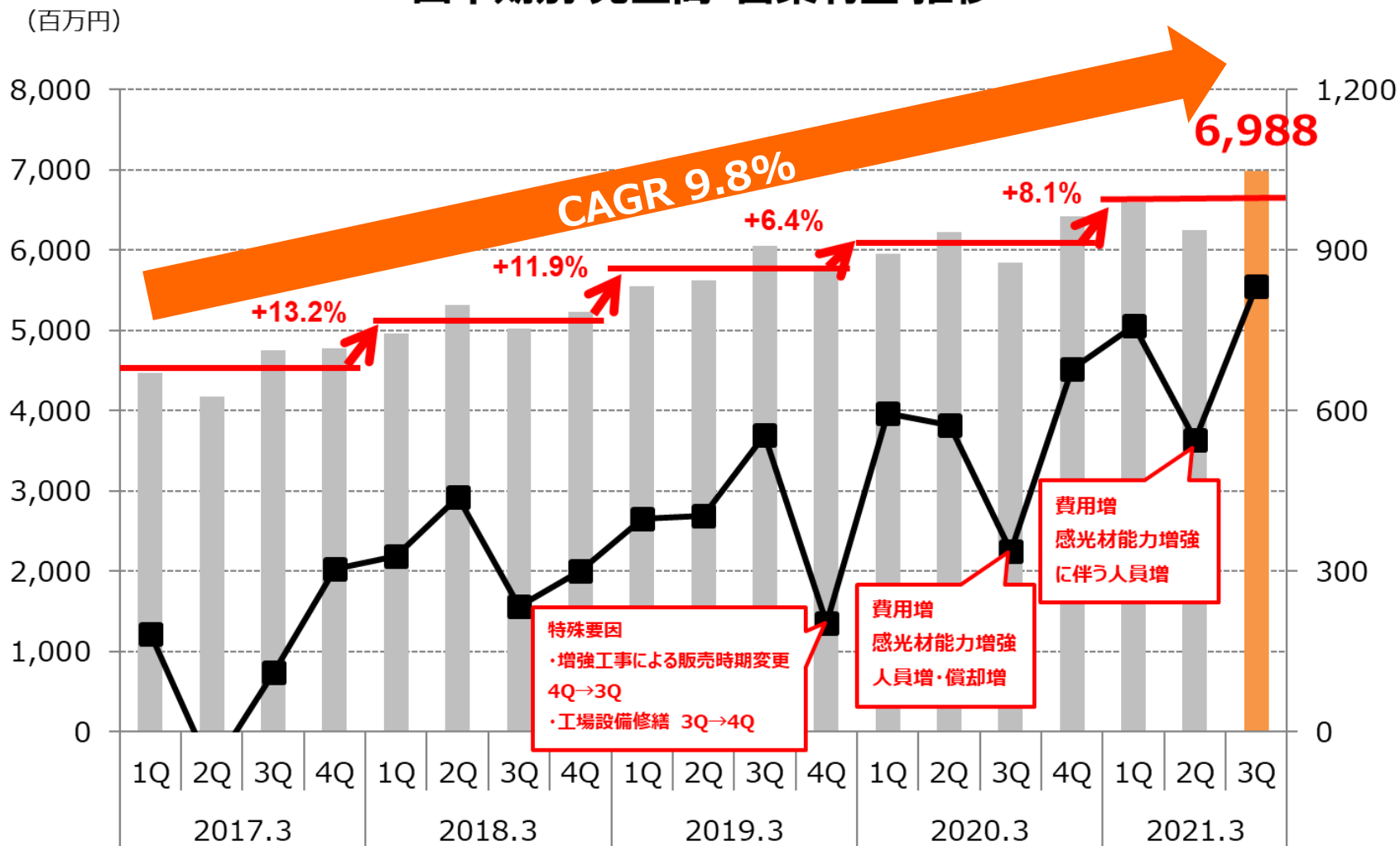
■ 当期純利益

- ✓ 1,412百万円（同+504百万円、+55.5%）

四半期別 売上高・営業利益推移

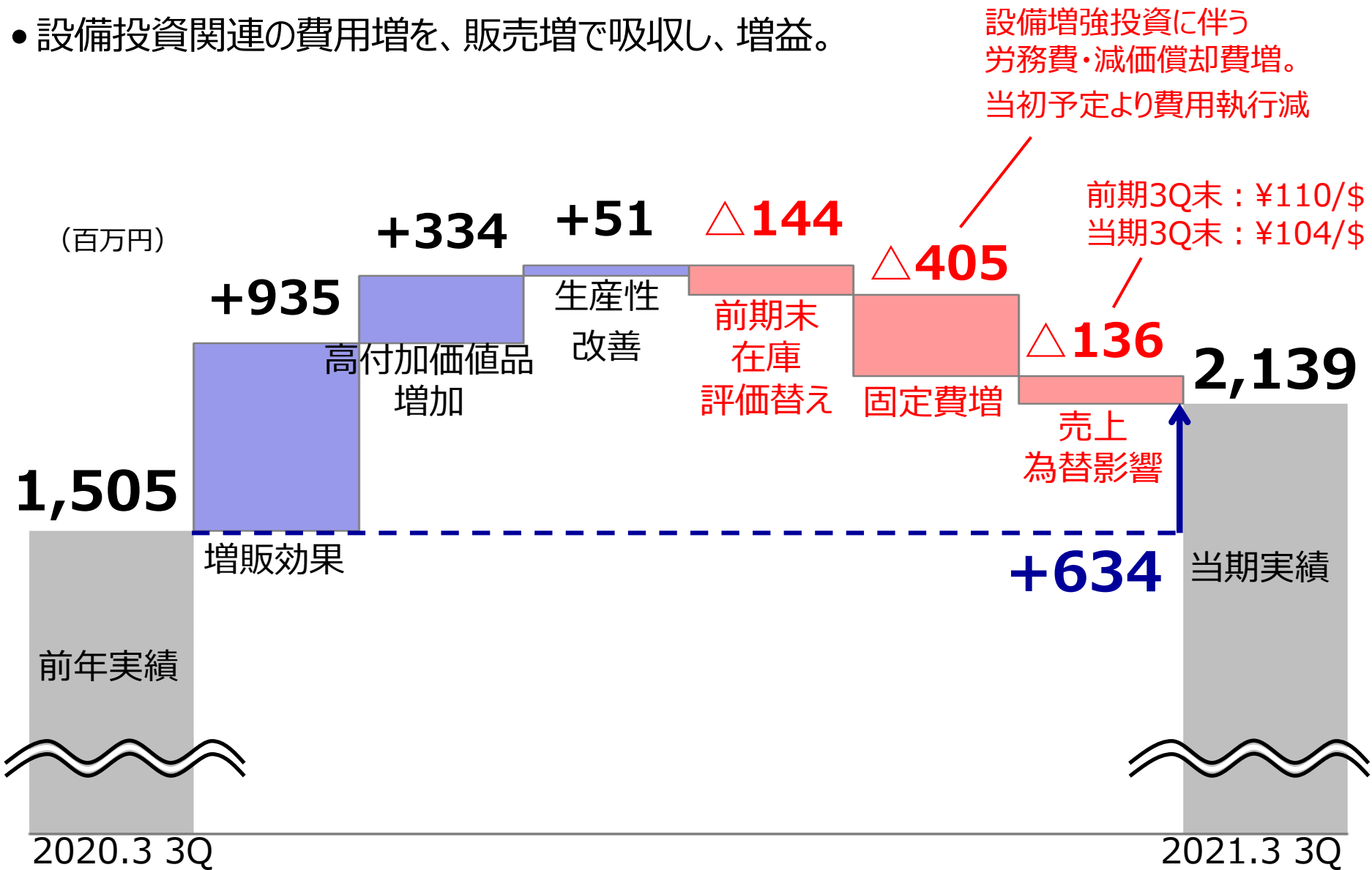
- 売上高・営業利益共に四半期では過去最高を達成。

四半期別 売上高・営業利益 推移



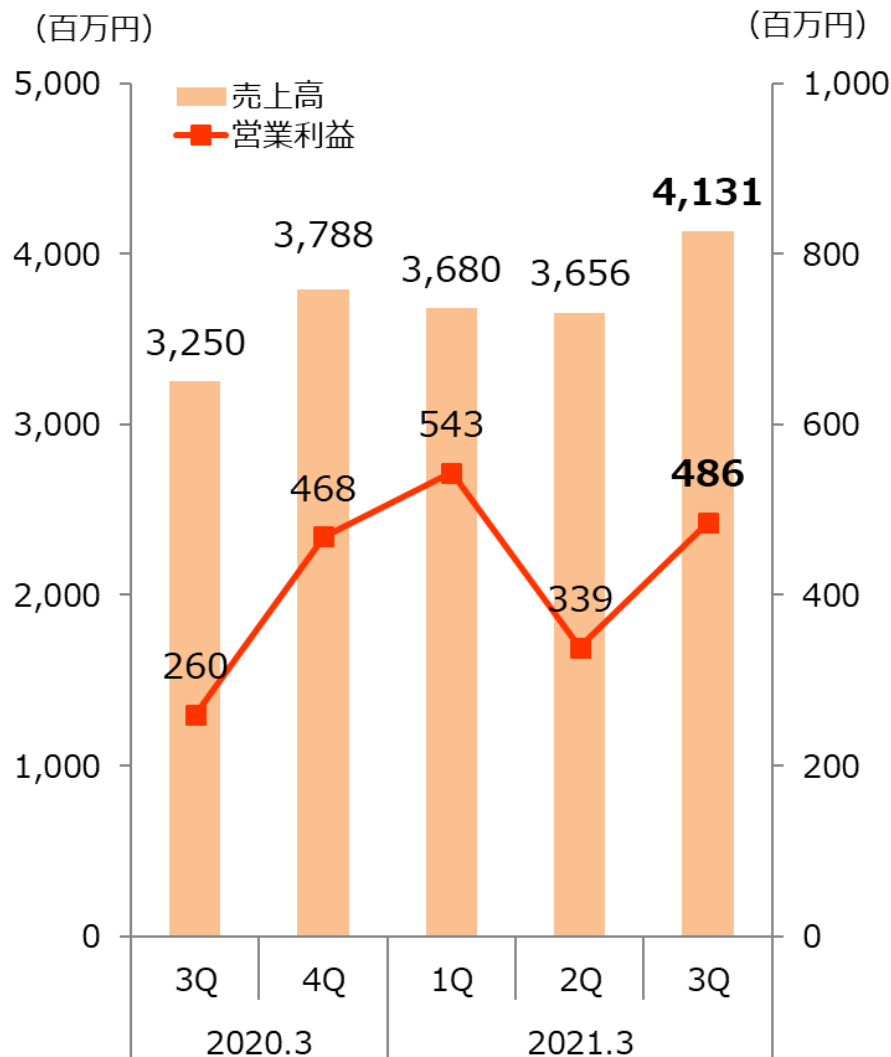
営業利益 増減要因

- 設備投資関連の費用増を、販売増で吸収し、増益。



感光性材料セグメント

売上高・営業利益



売上高：11,467百万円

(前年同期比+1,038百万円、+10.0%)

- PAG、Polymerなどの先端領域の製品販売が増加。

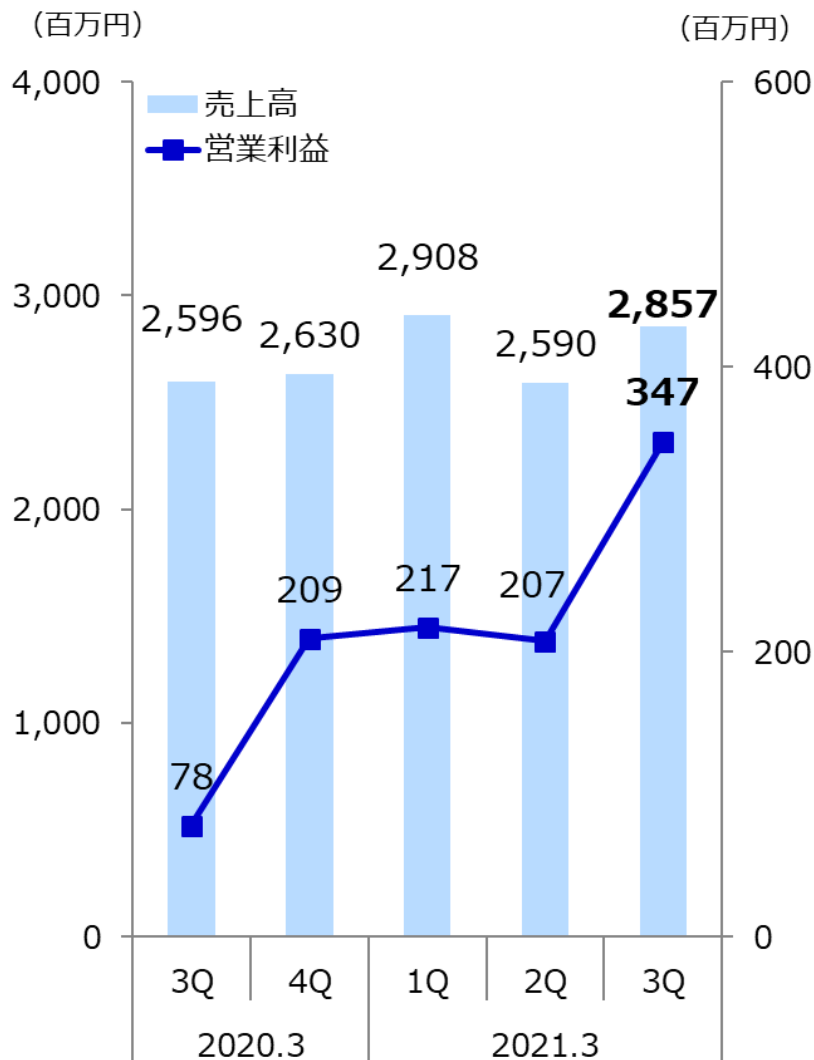
営業利益：1,367百万円

(前年同期比+270百万円、+24.7%)

- 設備能力増強に伴う労務費・償却費の増加があったものの、製品販売の増加などにより増益。

化成品セグメント

売上高・営業利益



売上高：8,356百万円

(前年同期比+748百万円、+9.8%)

- 電子材料関連は増加。
- 香料材料は堅調に推移。
- ロジスティック事業は、荷動き量が減少したが、現在は回復傾向。

営業利益：772百万円

(前年同期比+363百万円、+88.9%)

- 売上増加に伴い増益。
- 電子材料向け高付加価値製品へのシフト加速。

2021年3月期 第3四半期 損益計算書

- 売上高は19,823百万円。
- 売上総利益率は、先端領域製品が増加し改善（21.1%→23.1%）。
- 販売管理費が6.0%の増加に留まり、営業利益は2,139百万円。

(百万円)	2020.3期 3Q	2021.3期 3Q	増減額	増減率
売上高	18,036	19,823	+1,787	+9.9%
売上原価	14,228	15,242	+1,013	+7.1%
売上総利益	3,807	4,581	+773	+20.3%
販売管理費	2,302	2,441	+139	+6.0%
営業利益	1,505	2,139	+634	+42.1%
営業外収益	67	113	+46	+69.0%
営業外費用	166	167	0	+0.5%
経常利益	1,406	2,086	+679	+48.3%
特別損益	△40	△29	+10	+26.8%
税引前当期純利益	1,366	2,056	+690	+50.6%
法人税等	457	644	+186	+40.7%
当期純利益	908	1,412	+504	+55.5%

[売上総利益 +773百万]
先端領域製品が増加し、
売上総利益率が改善
(21.1%→23.1%)

[営業外収益 +46百万]
受取保険金 65百万、
為替差損 55百万

2021年3月期 第3四半期 貸借対照表

- 感光材設備投資の実施により、有形固定資産は3,056百万円、有利子負債は2,728百万円の増加。
- 株主資本は、当期純利益の増加により、1,252百万円の増加。

(百万円)	2020.3末	2020.12末	増減額
流動資産	15,503	16,909	+1,406
現金預金	3,582	3,682	+99
売上債権	4,654	4,968	+313
棚卸資産	7,019	7,332	+312
その他	246	925	+679
固定資産	23,627	26,466	+2,839
有形固定資産	22,112	25,169	+3,056
無形固定資産	407	480	+73
投資・その他	1,107	816	△290
資産合計	39,130	43,376	+4,245

[有形固定資産 +3,056百万]
 [有利子負債 +2,728百万]
 感光材設備投資の実行によるもの

(百万円)	2020.3末	2020.12末	増減額
負債	28,561	31,538	+2,977
仕入債務	3,000	3,414	+414
有利子負債	18,188	20,916	+2,728
その他	7,372	7,206	△165
純資産	10,569	11,837	+1,268
株主資本	10,563	11,816	+1,252
評価・換算差額等	5	21	+15
負債・純資産合計	39,130	43,376	+4,245

[自己資本比率]
 27.3% (前期末比+0.3pt)

1. 2021.3月期 第3四半期 決算概要

2. 2021.3月期 通期見通し

2021.3月期 業績予想 修正前・修正後比較

- 2021年3月期第4四半期も、先端領域製品を中心とした販売は好調に推移する見通しであることを踏まえ、業績予想を修正。
- 想定為替レートは ¥105/\$。

	8/7業績予想 修正後	2/5業績予想 修正後		
(百万円)	2021.3 通期業績予想	2021.3 通期業績予想	修正額	増減率
売上高	25,000	26,000	+1,000	+4.0%
営業利益	1,950	2,600	+650	+33.3%
経常利益	1,870	2,500	+630	+33.7%
当期純利益	1,260	1,650	+390	+31.0%

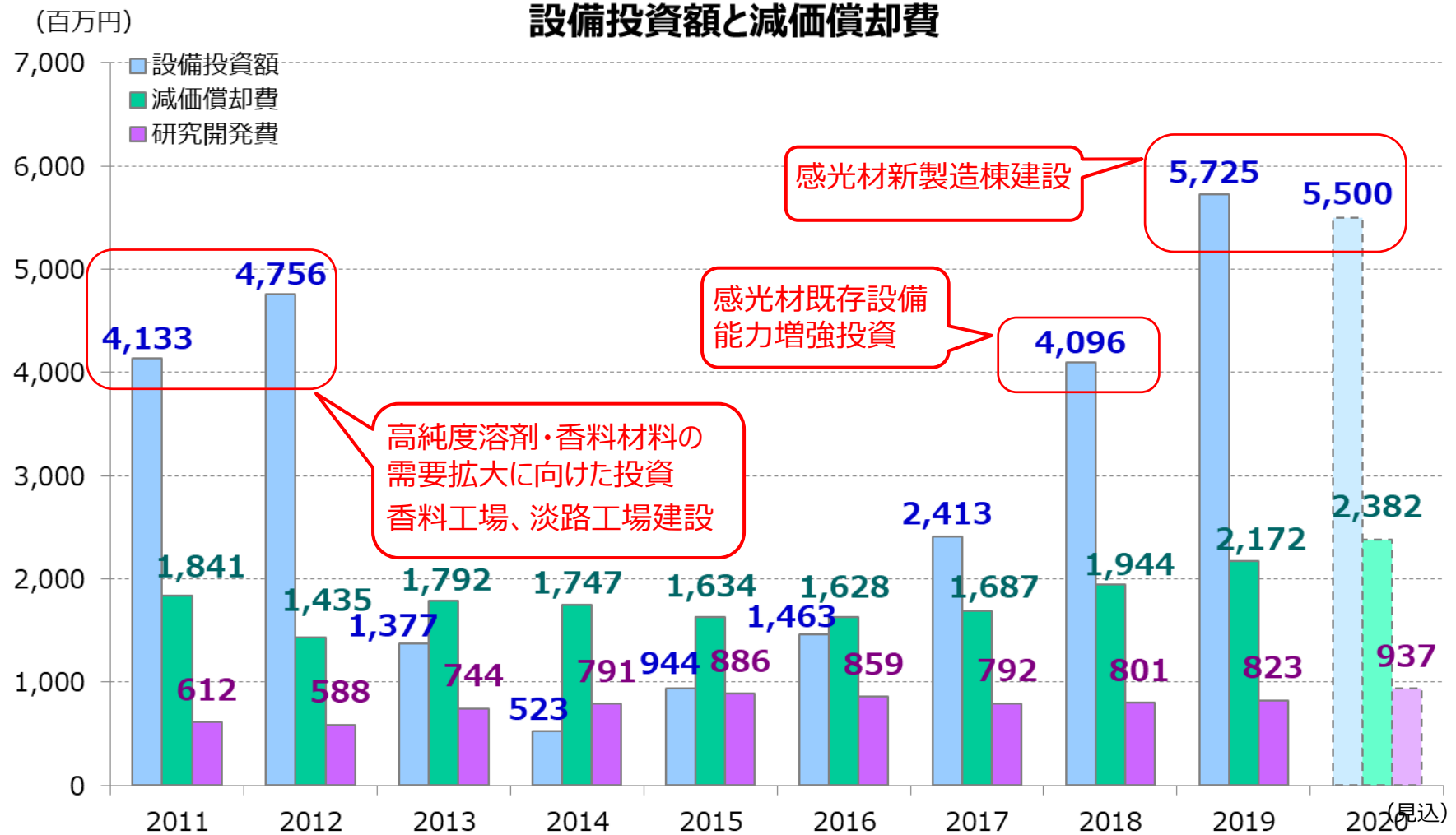
2021.3月期 業績予想・進捗状況

- 通期業績予想修正後の進捗率は下記のとおり。

(百万円)	2021.3 通期業績予想	2021.3 3Q累計実績	進捗率
売上高	26,000	19,823	76.2%
営業利益	2,600	2,139	82.3%
経常利益	2,500	2,086	83.5%
当期純利益	1,650	1,412	85.6%

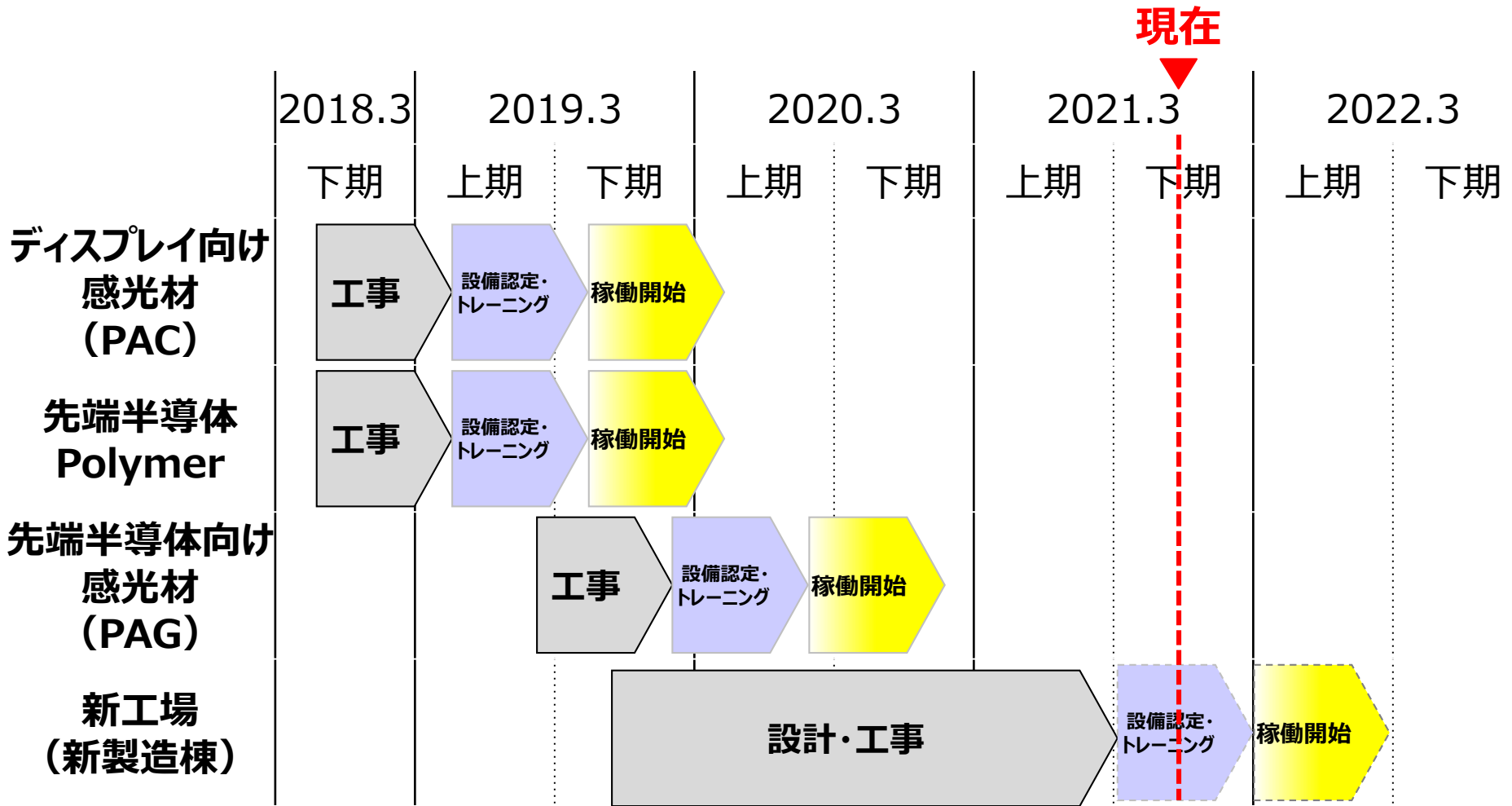
設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移

- 電子材料の需要拡大に伴い、2017年から生産能力増強投資を継続
- 2020年度の設備投資は第4感光材工場の竣工もあり、前期同水準の約55億円を計画



感光材の生産能力増強

- 感光材新製造棟が当初予定通り10月に完成。
- 今期は製品認定期間となり、業績への寄与は来期以降の見込み。



独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。